

越前町地域おこし協力隊

活動報告

平成25年10月、町で初めての地域おこし協力隊として、大阪府出身の京野慎太郎さんが着任しました。隊員としてさまざまな活動を行ってきましたが、平成29年3月末をもってその任期が終了となります。越前地区に定住し、地域おこし活動を行ってきた京野さんの3年半を振り返り、活動の成果を報告します。



京野 慎太郎さん (30歳)

京野隊員から一言

越前町地域おこし協力隊の京野慎太郎です。平成25年10月、大阪から越前町へ移住し早くも3年が経ちました。地域おこし協力隊の任期もこの終わりを迎えます。越前町という自然豊かで、温かい人達がいるこの場所です。さまざまな経験をさせていただくことができました。活動は成功することあれば、失敗することもありました。そういった経験があったからこそ、たくさんの方と出会うことができ、みなさんに支えられながらの3年間だったと思います。本当にありがとうございました。地域おこし協力隊の活動は終わりますが、この経験と町の魅力をこれからも情報発信していくことで、少しでも越前町に恩返しできればと思っています。

地域を知るためのフィールドワーク活動
着任当初は、越前地区を中心に町の資源や地域の実態を調査し、住民や地域との交流を深めることで、町が抱える課題の発掘を行いました。

各種会議・プロジェクトへの参画
町で取り組んでいる各種プロジェクトや会議に参加し、外部目線での意見・提案を行いました。

地域や各種団体への活動支援
フィールドワークで繋がった地域活性化に取り組み意思がある住民や団体に対して、活動を促すとともに具体的な活動に係る支援を行いました。また、地域(旧町村)間交流を促進するため、それらを繋ぐパイプ役としての活動も行いました。

タイアップ事業
観光連盟と越前焼工業協同組合のマッチングを行い、「浜の活井」に越前焼の器を使用することになりました。



婚活イベントの開催

民間団体「恋のおせっ会」を設立し、地域住民と婚活イベントを実施しました。今でも定期的にイベントを開いています。



住民との座談会

町内住民と定期的話し合いをする場を設けて、住民のやりたいことを実現するために活動しました。



移住サポート

町への移住を検討されている人たちに、町の紹介や空き家の紹介などをツアー形式で行い、移住定住のサポートを行いました。



商品開発

越前地区住民と新たな商品開発を目指し、開発に向けた試作会の実施や、実際にイベントでの商品の提供を行いました。



3年間お疲れ様！ イベントなど一緒に楽しいことができて良かったです。 S.Mさん (30代・農家)

Message to Mr. Kyono

活動に関わった住民のみなさんから京野さんへのメッセージ

地域おこし協力隊の活動、お疲れ様でした。京野さんからもらったアイデアを生かして若者の場所を作ります！ H.Iさん (20代・会社員)

Thank you Mr. Kyono



着任当初は、人も風習もわからない土地での活動に、多くの不安とさまざまな壁を感じたことでしょうか。しかし、京野さんの柔軟な発想と行動力から少しずつ繋がりが生まれ、京野さんとの関わりが町の地域おこしを考えるきっかけとなった町民の人も多いのではないのでしょうか。京野さん、本当にお疲れさまでした。

慎太郎は弟！ 家族みたいに思っているよ。いつも楽しませてくれてありがとう！ K.Kさん (40代・陶芸家)

町では、集落支援員も活動中です

集落支援員は、過疎が進む集落の現状や課題、あるべき姿の話し合いを促進するために活動しています。高齢化率の高い11集落を対象に、2人の支援員が集落点検の実施、地域の実情に応じた集落の見守りや活性化対策に取り組んでいます。



高齢化で集落内の手入れが行き届かず、相談を受けた支援員の呼びかけで集まった有志と共同作業を行いました。(真木)



支援員が企画した集落のつどい。講師指導による健康体操を行いました。(血ヶ平・梨ヶ平)



昭和の学校茨松分校運営事業の様子。運営委員会のメンバーとしてお手伝いをしています。(入尾・茨松)